

(2020年8月)

ハイチ共和国・政治・経済・社会情勢月報

在ハイチ大使館

<要点>

【政治】

- ジョゼフ外相のワシントンでのリマグループ会合への出席（5日）
- モイーズ大統領のアビナデル・ドミニカ共和国大統領の就任式への出席（16日）
- ペトロカリベ基金の汚職問題に関する最終報告書の提出（17日）
- チャヴシュオール・トルコ外相のハイチ訪問（18日）

【経済】

- ハイチ中央銀行（BRH）は、対米ドルグルド安の現状を改善するため、外国為替市場に1億5千万米ドルを投入することを発表（8日）
- アメリカ滞在中のディミトリ・ヴォルブ氏の逮捕（21日）

【社会】

- 国内の一部学校の活動再開（10日）
- 国連ハイチ統合事務所（BINUH）が2020年1月から6月にかけてギャングの抗争等により159名が死亡したと発表（12日）
- ハイチ保健・人口省は、新型コロナウイルス感染者が8,000人を超えたと発表（22日）
- ハイチ保健・人口省は、新型コロナウイルス感染による死者が200人を超えたと発表（26日）
- トロピカル・ストーム・ローラがハイチを通過した。28日までに31名の死亡と8名の行方不明者が確認された（23日）
- ドルヴァル・ポルトープランス弁護士会会長の殺害（28日）

1 政治

- 7日 ジョゼフ外相は、リマグループ各国の代表者とベネズエラの危機的状況についてワシントンで会合を行い、今後も継続して反マドゥーロの立場を取ることを強調した。
- 16日 モイーズ大統領は、アビナデル・ドミニカ共和国大統領の就任式に出席し、その後二国間関係の強化等について会談を行った。また、この機会にポンペオ米 국무長官とも会談を行い、ハイチが合法的な選挙を計画し、暫定選挙委員会（CEP）を早期に組織し、人権に関する法の支配を強化する必要があるという点で一致した。
- 17日 行政訴訟高等裁判所（CSCCA）は、ペトロカリベ基金の汚職問題に関する最終報告書を上院に提出した。同報告書において、CSCCAはペトロカリベ基金を利用した総額2.61億万ドルにも及ぶ計32のプロジェクトについて調査した結果、中央政府、地方政府及び実施団体の3つのレベル

それぞれにプロジェクトの計画・実施の段階での失敗の原因があったとした。具体的には、不適切なニーズの予測、不完全な見積もり、不十分なリスク予測、不必要な追加工事による予算の超過などが確認され、経済的効率性が考慮されていなかったことが明らかになった。他方で、上院は現在機能不全状態にあるため、今後本報告書が司法に委ねられるかどうかの判断は次回の国会議員選挙で新たな議員が選出されてから行われる。

- 18日 チャヴシュオール・トルコ外相は、ハイチを訪問し、ジョゼフ外相と7つの協定文書に署名を行った。その後、モイーズ大統領と会談を行い、二国間関係や特にエネルギー分野での関係強化について議論した。

2 経済

- 8日 ハイチ中央銀行(BRH)は、対米ドルグルド安の現状を改善するため、外国為替市場に1億5千万米ドルを投入することを発表した。
- 22日 ジュトゥ首相は、アメリカ滞在中のディミトリ・ヴォルブ氏がマイアミにて21日に逮捕されたことを発表した。

3 社会

(1) 新型コロナウイルス関係

- 9日 国連中央緊急対応基金(CERF)は、新型コロナウイルス感染症対策のため、総額400万ドルの支援を実施することを発表。同支援により、ハイチ国内NGOや国際NGOと協力し、ハイチ全土にて計26万5千人を対象に衛生環境の改善に取り組む。
- 10日 ハイチ国内の小・中学校、高校、大学の一部が、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う3月19日の学校の閉鎖以来約5か月ぶりに活動を再開した。今後、感染対策を徹底した上で10月中旬まで学期が延長される。
- 22日 ハイチ保健・人口省は、新型コロナウイルス感染者が8,000人を超えたと発表。
- 26日 ハイチ保健・人口省は、新型コロナウイルス感染による死者が200人を超えたと発表。

(2) 治安関係

- 5日 当地米国大使館は、ギャングに関連した暴力的行為により生命が失われている現状に強い懸念を抱いており、特にシテ・ソレイユ地区、ラ・サリーヌ地区、ベル・エアー地区、マルティッサン地区、ヴィラージュ・ドゥ・デュー地区において人権侵害が組織的に行われているとの声明を発表した。
- 10日 エスペランス人権保護全国ネットワーク(RNDDH)代表は、「G9とその同盟」とが与党PHTKのために働いており、その目的がミシェル・マルテリー元大統領の復帰であることは明らかであるとした。また、国内の治安状況につき、虐殺の発生件数が増加しており、7月だけで少なくとも約50人が殺され、約30人が行方不明となっているとした。
- 12日 国連ハイチ統合事務所(BINUH)は、2020年1月から6月にかけてギャングの抗争等により159名が死亡し、92名が負傷したと発表。関係当局に対し犯人逮捕に全力を挙げるよう求めた。また、ハイチ政府に対し、ハイチ国家警察(PNH)や武装解除・社会復帰国家委員会(CNDDR)が適切に任務を遂行できるように財政支援を行うよう求めた。
- 23日 23日未明から午前にかけてトロピカル・ストーム・ローラがハイチを通過した。現在までに31名の死亡と4名の行方不明者が確認された。
- 28日 ドルヴァル(Monferrier DORVAL)ポルトープランス弁護士会会長が自宅の駐車場で何者かによっ

て銃殺された。その前日には二人の実業家とラジオ司会者が殺害されていた。ドルヴァル弁護士は、今年2月にポルトープランス弁護士会会長に選出され、大学で教鞭も執っていた。ここ数週間の間、同会長の立場から現在ハイチが直面する様々な難しい懸案についてコメントをしていた。